

令和元年度 自己評価結果報告

社会福祉法人川原福祉会
認定こども園 きらり

本園の教育目標

互いに思いやりを持ち、互いに協力し合う子どもを育む保育を行います
健やかに成長するために適切な環境を確保し、あたたかい家庭的な教育・保育を行います。
家庭や地域との連携を密にし、園と家庭や地域との相互理解と協調を目指します。

本年度定めた重点目標

安心して預けられる安全な園の環境改善に努めます。
広く開かれた園を目指し、保護者と教職員、子どもが接するように努めます。
自己点検、自己評価を実施して、教育・保育内容の充実と改善に努めます。

◎ 保育の計画と編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向けて、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		○			前年度の反省を踏まえ、目標を検討しそれに向かい職員全体で取り組むことが出来た。
	(2) 目標は各施設や地域の特性を生かしているか。		○			
	(3) 目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	(4) 目標は前年度の反省を生かしているか。		○			
	(5) 目標は全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			玩具、教材等職員同士でより良い方法を考え、援助・支援に取り組むことが出来た。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日時程	(1) 1日の流れ（ディリープログラム等）は、現行で良いか。		○			
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			行事によっては間隔が狭かったり、準備に焦りがあった部分もあったが、園児を第一に考え保護者の方の理解も得ながら進めることができた。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に充分生かしているか。		○			
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

◎ 保育の計画と編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			職務内容については徐々に協働出来る体制になってきてはいる。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○			
		(4) 係りや仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			会議や職員間の話し合いは出来ているが、行事前等の打ち合わせ等もう少し必要だったように思える。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむ事なく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
	年齢別・クラス別	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				異年齢間は職員の工夫もよくできており、評価も上がってきたのではないかと感じる。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○			
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○				
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○			
		(6) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。		○			
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○			家庭の啓発等は何らかの形で行えているが、保護者によっては色々な角度で伝えても関心を持ってくれないことがある。
		(2) 避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○			
(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等連携を図っているか。			○				
研究・研修	所内研究・研修	(1) 研修主題は、保育目標の具体化につながるものであるか。		○			研修に関しては少ない人数の中、協力して参加できているのではと感じている。
		(2) 所内研修の計画・運営は適切か。		○			
		(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。		○			
		(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。	○				

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
研究・研修 所外研究・研修	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○			
	(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○			
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				園長、主幹、クラスリーダーを中心に適切に行われている。
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○				
	(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。		○			
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○			施設の安全点検等は全職員で行い情報共有できているのでは。
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。		○			
	(3) 不審者等に対応する周到的配慮を行っているか。		○			
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○			
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。		○			公認会計士、税理士の方の指導の下、適切に行えている。
開かれた園づくり 施設間交流・連携	(1) 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。		○			昨年より交流は増えたが、地域の関りは今後も増やしていきたい。
	(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で（乳）幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
	(3) 指導者同士が、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○			
	(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。		○			
	(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○			
開かれた園づくり 家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○			保護者の方にも参加して頂く保育参加や給食交流会など様々な行事で家庭とのつながりを持てるよう努めた。
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○			
	(3) (乳) 幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
	(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
開 か れ た 保 育 所 づ く り	子 育 て 支 援 の 推 進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。		○		保護者向けの講演会等を行っているが、地域の方々との行事を今後増やしていきたい。
		(2) 地域に任む子ども同士、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。		○		
		(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○		
		(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○		
		(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○		
	情 報 の 発 信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。		○		情報の発信、小学校・地域の連絡会等も参加できている。
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○		
	外 部 評 価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○		意見や苦情など真摯に対応できたと感じている。
		(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○		

学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

◎評価 B 達成されている

- ・自己点検、自己評価により客観的に自らを反省し、さらに充実した教育・保育ができるように努力する方向性を見出ししていくことができた。
- ・現時点ではおおむね目標を達成できている。今後も教職員相互で情報を共有し、子どもや家庭、地域との関係を密にしていきます。

今後取り組むべき課題

- ・教育・保育の根本の基本法、憲法などの理解を深めるようにする。
- ・安全、安心を確固たるものにできるよう、常に問題意識を持つようにします。
- ・マニュアルを実践的に活用するための方法を考えていきます。
- ・食育活動の推進を図り、食に対する感謝の気持ちを育てる。